



◆清水由美子 議員

教科書決定の過程を問う

教育長

西濃地区採択協議会にて協議

問 教科書内容は、出版社により、記述内容が同じではない。教科書検定に合格した歴史教科書の中に、自虐色の強い物がある。教科書は、どのような経過で選ばれるのか。

答 5月の養老町教育委員会にて西濃地区採択協議会の設置に同意し、町内中学校より研究員を派遣して調査・研究にあたる。その後、協議会の協議結果を養老町教育委員会でも協議し、同意するかどうか決定する。

問 自国の歴史や文化への愛情を深める事ができる様な教科書選びが必要と思われるが、採択される教科書は適切か。

答 教科書の選択結果と理由については、西濃地区採択協議会が、規定に従い公表する。調査・研究・協議の内容は、9月1日以降に公表される。



中学校の歴史の教科書

生徒の現状と今後の対策は

教育長

継続的にきめ細やかな支援を

問 新型コロナウイルスでの休校・自粛生活中、子供たちの体力・スマホ依存対策は。

答 体力面の支援は、家庭学習課題の中に「自宅でする運動」を位置づけ取組んだ。取り組み表は、毎日の「生活振り返り表」に記入するよう指導した。家庭でする運動も配信。スマホ依存等対策も、同表の活用と週に1度の家庭連絡で聞き取り、保護者と連携して改善へ。

問 「心のアンケート」の実施結果の把握と対策は。

答 感染が心配で、学校再開後も欠席者が小・中学生合わせて3人いたが、丁寧に説明。2人は通常登校。1人は放課後登校をしている。今現在は、ストレスや不安を訴える生徒は少なく、落ち着いて生活している。一斉授業が始まる6月15日以降、2回目の「心のアンケート」を実施し、きめ細かな支援を継続的に実施する予定。



中学生の下校の様子

ほかに「ゴミ収集日について」の質問もしました。



◆西脇 康 議員

学校給食の課題と今後は

教育長

研究・調査し検討する

問 給食費の無償化は。

現在、養老町では、小学校1人当たり年間4万9500円、中学校5万8300円を保護者が負担している。

答 財政負担は大きく、年間1億1千万円を超える経費がかかり、無償化は難しい。就学援助制度などで保護者を支援している。

問 調理施設の老朽化、調理師の担い手不足、食材のロスなど問題解決に施設合理化、統合は。

答 築年数は平均35年。施設維持管理には苦慮している。今後、小規模な改修で、長寿命化を図るか、将来的な学校統合や給食施設の集約を図るなど、調査を進め検討していく。



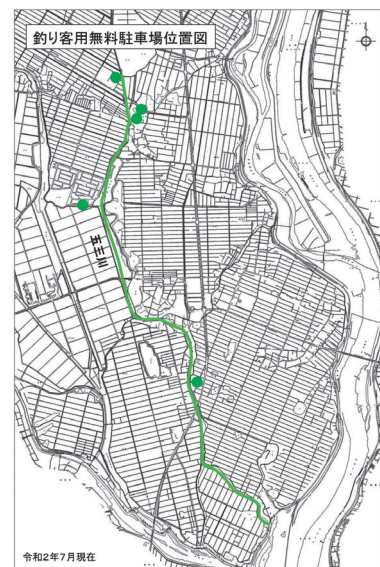
町内小学校の給食室

問 給食時の感染対策として、「手洗いの徹底」、「会話を控える」、「間隔を開ける」など対応されているが、段階的な緩和策は。

答 給食は、感染リスクが高いことを受け、常に「安全・安心な給食」を目指し、配膳を工夫し、随時改善していく。

あれからどうなったんやあ〜 シリーズ 95

このシリーズは、過去の定例会（今回は令和元年6月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。



「五三川の釣り対策は」

こうなりました

迷惑駐車対策として、町では交差点部等の危険箇所にポストコーンを設置し、物理的に駐車ができないような対策を講じました。養老郡漁業協同組合では、釣り客用の駐車場を下笠・大場・大巻地内に合計5箇所設置したほか、監視員により違法駐車車両に注意喚起等を行っています。また、養老警察署では、迷惑駐車や不審者等のパトロール強化をしております。

釣り客によるゴミ対策としては、民間の団体主催による河川清掃活動が継続的に実施されているほか、町の環境パトロール事業として不法投棄の巡回監視を継続して実施しています。

今後も新たな対策等が必要な場合は、地域、漁業協同組合、警察、行政が連携して対応してまいります。